

The Expert



平成30年4月10日発行 ● No.102 ●

● 循環器内科学 中西 理子 講師 (平成13年・東邦大学卒)

心臓CTを用いた冠動脈疾患の診断—より非侵襲的、より簡便、そしてより正確に—

虚血性心疾患の頻度は世界中で増加傾向です。そのため、より早期に発見し治療介入する事が将来の心筋梗塞や突然死など致死的事件抑制につながります。非侵襲的イメージング検査である心臓CTは10年程前に64列CTを発売して以来、テクノロジーの発展及び多数のエビデンス構築により、虚血性心疾患の予防や診断に対し近年その役割を大きく果たしています。

(1) 予防的観点：無症状性患者に対する心臓CTの役割

糖尿病、脂質異常症、高血圧といった生活習慣病への治療は、虚血性心疾患の重要な一次予防となります。心電図同期下の非造影心臓CTから冠動脈の動脈硬化をスコア化(石灰化スコア)することで、より正確なリスク層別をすることが出来ます。近年のデータから、石灰化がない患者さん(石灰化スコア0)は長期間(≥10年間)の心血管イベントや死亡率が非常に低く、反対に動脈硬化が強い患者さん(石灰化スコア≥400)のリスクは高い事が分かっています。石灰化スコアは無症状患者さんの長期間のリスク層別化に役立ち、その効果はガイドラインが推奨する動脈硬化リスク因子よりも有用であるというデータがあります。



このように、石灰化スコアは可視化出来る新しい冠動脈リスク因子と言えますが、その評価は通常の胸部CTでも可能です。心臓CTと胸部CTから得られた石灰化スコアは高い相関を示すというデータも発表されています。生活習慣病を有する患者さんが胸部CTを行っていたら、石灰化の有無を確認して下さい。動脈硬化が強ければ原疾患に対する厳格な治療が必要です。

(2) 診断的観点：安定胸痛患者に対する心臓CTの役割

造影心臓CTは解剖学的評価が可能のため、冠動脈狭窄などの動脈硬化病変の重症度評価が可能です。数多くの心臓カテーテル検査との比較試験で、その高い診断率が報告されています。特に感度と陰性的中率が高いため、より正確に有意狭窄を検出し心臓カテーテル検査が必要な患者さんを選別出来ると同時に、不必要な心臓カテーテル検査も減らす事が出来ます。当院では心臓CTに特化したSiemens社のFlashを有し、放射線量も低くより低侵襲な心臓CT検査を患者さんに提供しています。但し、心臓CTに適さない症例(高度石灰化、小ステント、不整脈、頻脈など)に関しては他のモダリティで評価を行うなど、それぞれの患者さん背景を考慮し診断しています。虚血性心疾患が疑われる患者さんがいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。迅速に対応致します。



● 診療予約

診療のご予約は、下記までご連絡下さい。
診療日・診療時間をご案内いたします。

● 診療日

中西 理子 講師：
再診 木曜日午前・午後、土曜日午前

医療機関専用電話 **パートナー**
03-3762-6616 (直通)

(受付時間 平日 8:30~17:00、土曜 8:30~14:00)
(休診日:第3土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始・創立記念日6/10)



東邦大学医療センター大森病院
Toho University Omori Medical Center
〒143-8541 東京都大田区大森西 6-11-1
03-3762-4151 (代表)
<https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/>
発行元：地域医療支援センター

The Expert



平成30年4月10日発行 ● No.102 ●

● 総合診療内科 佐々木 陽典 助教 (平成18年・東邦大学卒)

専門領域の谷間で救いを求める方々の力になれる「診断のプロ」を目指して

2006年に東邦大学医学部を卒業後、同医療センター大森病院で卒後臨床研修を終えた後、検査に依存し過ぎることなく、臓器の枠に囚われずに患者さんの役に立てる医者を目指して、臨床研修の聖地として憧れていた沖縄県立中部病院で3年半に渡って内科の各領域で研鑽を積ませていただきました。その後、石垣島にある沖縄県立八重山病院で腎疾患、膠原病、内分泌疾患、救急を中心に2年間の研鑽を積みつつ、臨床で得た教訓を世界中の医師と共有すべく英文での症例報告の執筆に勤しみました。過酷な研修でしたが、一流の指導医のもとで全国から集まってきた優秀な仲間と採まれながら豊富な症例を経験できたことは内科全領域を総合的に診療するうえで大きな財産となっています。

大学病院は専門医療機関であると同時に教育病院でもあります。この二つの側面の両立も総合診療医の使命と考え、後進の育成を通じて母校へ恩返しをしたいとの思いから、2014年から総合診療・急病センターに戻り、臨床・教育・研究に励んでおります。

専門的医療を担う大学病院は臓器別専門医の輝く場所と捉われがちですが、いかなる治療にも適切な診断が必須であり、「患者さんに適切な治療の機会を提供する診断のプロフェッショナル」の輝ける場でもあるべきだと考えております。臓器の枠に囚われることなく、病歴聴取・診察により患者さんの「訴え」から病態を推定して、適切な分野の専門医と連携して診断・治療に辿り着くことが総合診療医の使命だと思っています。

高度に専門化された医療の恩恵は計り知れませんが、「専門領域の谷間」で救いを求めている患者さんが数多くいるのも事実ではないでしょうか。「専門領域の谷間」で苦しむ方々の力になれるような総合診療医が大学病院にこそ必要だと日々感じながらお仕事をさせていただいております。不明熱や不定愁訴の患者さんから「これまでどこでも原因がわからなかったけど、先生のところに来たら病名がわかって症状がよくなった。これからは先生のところにきます。」と仰っていただいた時の喜びは忘れられません。

私自身は総合内科専門医、プライマリ・ケア連合学会指導医、腎臓専門医、ICLSディレクターを取得しておりますが、得意分野に拘らず、様々な分野のスタッフの力も借りながら、目の前の患者さんの問題を解決できる医者を目指しております。

ご開業の先生方は日々多くの患者さんの様々な訴えに頭を悩ませていらっしゃるかと推察致します。微力ながら瓜田教授のもと医局員一同少しでもお役に立てればと思っておりますので、診断に苦慮されている患者さんがいらっしゃいましたらぜひ御紹介下さい。

● 診療予約

診療のご予約は、下記までご連絡下さい。
診療日・診療時間をご案内いたします。

● 診療日

佐々木 陽典 助教：初診 火曜日午前
再診 木曜日午前

医療機関専用電話 **パートナー**
03-3762-6616 (直通)

(受付時間 平日 8:30~17:00、土曜 8:30~14:00)
(休診日:第3土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始・創立記念日6/10)



東邦大学医療センター大森病院
Toho University Omori Medical Center
〒143-8541 東京都大田区大森西 6-11-1
03-3762-4151 (代表)
<https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/>
発行元：地域医療支援センター